

～2020年度 新学習指導要領スタート～

子どもの学びが進化します

4月の学校だよりでもお知らせした通り、学習指導要領が約10年ぶりに改訂され、本年度より実施されています。社会の変化を見据えた新たな学びとはどのようなものなのか、大口台小学校ではどのように取り組んでいくのかについてお知らせします。

(1) 「学習指導要領」とは

全国どこの学校でも一定の教育水準が保たれるよう、文部科学省が定めた教育課程（カリキュラム）の基本となるものです。およそ10年に一度の改訂があり、これをもとに教科書や時間割が作られます。

(2) 「教育課程（カリキュラム）」とは

学校での教育の目的や目標を達成するために、学習の内容や行事を、子どもの心身の発達に合わせて、授業時数、時期などを総合的に計画したものです。学校ごとに作成します。大口台小学校では、昨年度作成し、本年度よりそれに基づいた教育を実施しています。

☆新しい「学習指導要領」のポイント

■ 何ができるようになるか

新しい時代に必要となる資質・能力の3つの柱

- 実際の社会や生活で生きてはたらく「知識及び技能」
- 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」
- 学んでことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性」

■ 何を学ぶか

- 新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科等の新設や目標や内容の見直しが行われました。

「特別の教科 道徳」

様々な課題に「自分ならどうするか」と向き合い、自分とは異なる意見をもつ他者と議論する授業などを通じて道徳性を育みます。「特別の教科 道徳」が新設されました。

「外国語科」(5・6学年)〈年間70時間〉

今までの「聞くこと」「話すこと」に加え、「読むこと」「書くこと」の力も育みます。

「外国語活動」(3・4学年 ※横浜市立小学校では1・2学年も実施)〈年間35時間〉

「プログラミング教育」

コンピュータを活用してプログラムによって動くことを知り、物事を順序だてて考えたり実行したりすること(論理的な思考・行動)を体験的に学びます。

■ どのように学ぶか

- 「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業をめざします。「聞き方」や「話し方」を家庭とも協力して子どもたちに身に付くようにしていきたいものです。

☆評価が変わります

【評価…「あゆみ」の観点別評価が4観点から3観点に変わります。】

今までの「あゆみ」の観点別評価(4観点)

関心・意欲・態度

思考・判断・表現

技能

知識・理解

今年度からの「あゆみ」の観点別評価(3観点)

知識・技能

各教科等の知識及び技能の習得状況について評価します。

これまでの知識や技能を結び付けて活用する中で、ほかの学習や生活でも活用できるように概念を理解したり、技能を修得したりしているかを評価します。

思考・判断・表現

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決するための方法を考え、判断し、そして表現する力を身に付けているかを評価します。

主体的に学習に取り組む態度

知識及び技能を獲得したり思考力・判断力・表現力を身に付けたりするために、学習することへの意欲や主体的に関わり合いながら学習を進めているかを評価します。